

令和 7 ～ 1 0 年度使用中学校用教科書
（「特別の教科 道徳」）

石川県教科用図書選定資料

石 川 県 教 育 委 員 会

教科用図書選定資料について

この選定資料は、文部科学省の「中学校用教科書目録（令和７年度使用）」に記載された教科用図書（「特別の教科 道徳」）について、生徒の発達の段階を考慮するとともに、どのような工夫や配慮等が見られるか、「令和７年度使用教科書（中学校用教科書（「特別の教科 道徳」））」の採択方針」に基づき、次の①～⑦の観点で調査研究を行い、特徴・特記すべき事項を、一覧表にしたものである。

- ①言語活動の充実を図る工夫
- ②問題解決的な学習の充実、道徳的行為に関する体験的な学習の充実を図る工夫
- ③主体的な学びにつながる工夫
- ④多様な題材の充実
- ⑤他教科等との関連
- ⑥系統的・発展的な内容等の構成・配列
- ⑦生徒の発達の段階に適した本文の内容、挿絵等の扱い、印刷・製本

なお、選定資料に記載している発行者の順序は、文部科学省の「中学校用教科書目録（令和７年度使用）」に登録されている番号順とし、発行者名は次の略称で表している。

番号	略称	発 行 者 名
2	東 書	東京書籍株式会社
1 7	教 出	教育出版株式会社
3 8	光 村	光村図書出版株式会社
1 1 6	日 文	日本文教出版株式会社
2 2 4	学 研	株式会社 Gakken
2 3 2	あか図	あかつき教育図書株式会社
2 3 3	日 科	日本教科書株式会社

令和7年度使用教科書（中学校用教科書（「特別の教科 道徳」））
の採択方針

石川県教育委員会

令和7年度使用教科書（中学校用教科書（「特別の教科 道徳」））の採択に当たっては、教育基本法や学校教育法が示す教育の目的や目標、学習指導要領の趣旨を踏まえ、生徒の心身の発達の段階や特性等を十分考慮するとともに、次のことに配慮すること。

1 中学校用教科書（「特別の教科 道徳」）の採択の留意点について

- ① 考えを深め、判断し、表現する力などを育むことができるよう、自分の考えを基に討論したり書いたりするなどの言語活動の充実が図られるよう配慮されていること。
- ② 問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習の充実が図られるよう配慮されていること。
- ③ 主体的に学習に取り組み、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるよう配慮されていること。
- ④ 生命の尊厳、社会参画、自然、伝統と文化、先人の伝記、スポーツ、情報化への対応等の現代的な課題など、多様な題材の充実が図られていること。
- ⑤ 各教科、総合的な学習の時間及び特別活動との関連に配慮が見られること。
- ⑥ 教材や内容は、学年相互の関連が図られ、系統的・発展的に構成・配列されていること。
- ⑦ 本文の内容、挿絵、写真及び図等の扱いや、書体、文字の大きさ及び図版等の印刷が生徒の発達の段階に適応していること。

[選定資料等の活用]

令和7年度使用中学校用教科書（「特別の教科 道徳」）の採択に当たっては、石川県教育委員会が作成する「令和7～10年度使用中学校用教科書（「特別の教科 道徳」）石川県教科用図書選定資料」、及び、文部科学省において取りまとめた「教科書編修趣意書」等を活用すること。

特別の教科 道徳

〔 道 徳 〕

(ページ)

東 書	新編 新しい道徳 1、2、3	2
教 出	中学道徳 1、2、3 とびだそう未来へ	3
光 村	中学道徳 1、2、3 きみが いちばん ひかるとき	4
日 文	中学道徳 あすを生きる 1、2、3 中学道徳 あすを生きる 1、2、3 道徳ノート	5
学 研	新版 中学生の道徳 明日への扉 1、2、3	6
あ か 図	中学生の道徳 1、2、3	7
日 科	道徳 中学 1 生き方から学ぶ 道徳 中学 2 生き方を見つめる 道徳 中学 3 生き方を創造する	8

教科	特別の教科 道徳	種 目	道 徳	発行者	東 書
----	----------	-----	-----	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 言語活動の充実を図る工夫	- 各教材に「つぶやき」欄が設けられており、自分の気づきや考えを書き込むことで、話合いに活用することができるように配慮されている。 - 巻末に「心情円」が用意されており、自分の心情を可視化することで、互いの考えを示しながら話し合うことができるように配慮されている。
② 問題解決的な学習の充実、道徳的行動に関する体験的な学習の充実を図る工夫	「探究の対話」では、教材から自分で問いを立て、対話を通して、自分の考えを広げたり、深めたりする学習活動の流れが示されており、道徳的価値の理解を深めるための問題解決的な学習となるように配慮されている。 - コラム「Plus」では、役割演技をすることを通して、気付いたことや感じたことを話し合う活動が適宜示されており、道徳的な問題を自分ごととして考える学習となるように配慮されている。
③ 主体的な学びにつながる工夫	- 巻頭の「1年間で学ぶこと」では、よりよい自分になるためにやってみたいことを記載する欄が設けられており、自分の目標をもつことができるように配慮されている。 - 巻末の「自分の学びを振り返ろう」では、学期ごとに心に残った教材等を振り返って書き込む欄が設けられており、自分の成長を実感することができるように配慮されている。
④ 多様な題材の充実	- 防災を題材にした教材が掲載されており、様々な災害状況に道徳的価値を当てはめながら考えることで、道徳的判断力を育むことができるように配慮されている。 - 巻末にSDGsと関連する3つの教材が掲載されており、持続可能な社会について考えることで、道徳的価値の理解を深めることができるように配慮されている。
⑤ 他教科等との関連	- 巻末の「教材一覧表」では、教材と関連する他教科等が一覧で示されている。 - 教材名の下に関連する教科等が適宜示されており、他教科等との関連を意識しながら考えを深めることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展的な内容等の構成・配列	4人の登場人物が友情を育む教材が3学年にわたって連載されており、友情について継続的に学びを深めることができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の段階に適した本文の内容、挿絵等の扱い、印刷・製本	各教材の冒頭に、学習内容と関連したデジタルコンテンツにつながる二次元コードとデジタルコンテンツの内容を表すマークが示されている。

教科	特別の教科 道徳	種 目	道 徳	発行者	教 出
----	----------	-----	-----	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 言語活動の充実を図る工夫	・ 巻頭の「話し合いのポイント」では、友達の見解を積極的に聞くための相槌や質問の例が具体的に示されており、対話を通して考えを深めることができるように配慮されている。 ・ 複数の教材には、自分の考えを整理しながら直接書き込むことのできる欄が設けられており、書き込んだことを基にペアやグループで話し合うことができるように配慮されている。
② 問題解決的な学習の充実、道徳的行為に関する体験的な学習の充実を図る工夫	・ 「やってみよう」では、役割演技や体験したことを基に話し合う活動が設定されており、日常生活に結び付けて道徳的価値に対する考えを深めることができるように配慮されている。 ・ 異なる立場の考えを取り上げた教材や登場人物が判断を迫られる教材には、問題の解決について考える発問例が適宜示されており、道徳的価値の理解を深めるための問題解決的な学習となるように配慮されている。
③ 主体的な学びにつながる工夫	・ 各教材に導入の問いと「学びの道しるべ」が設けられており、自ら考えを深めたり、心の変容を実感したりできるように配慮されている。 ・ 巻末の「『よりよく生きる』って、どういうことだろう？」では、自分や社会にとっての幸せ等をキーワードに、よりよく生きることについて考える学習活動が設けられており、1年間の学びを基に自らの生き方についての考えを深めることができるように配慮されている。
④ 多様な題材の充実	・ ユニット「つながり合って生きる」では、多様な人々や自然との共生等に関する教材とコラムが併せて配置されており、持続可能な社会について考えることで、道徳的価値の理解を深めることができるように配慮されている。 ・ 情報モラルを扱った教材では、発達段階に応じた身近な生活場面が示されており、社会の情報化に伴う道徳的な問題について具体的に考えることができるように配慮されている。
⑤ 他教科等との関連	・ 巻末の「内容項目別教材一覧表」では、他教科等との関連が一覧で示されている。
⑥ 系統的・発展的な内容等の構成・配列	・ 内容項目「友情、信頼」では、3学年にわたって同じ登場人物の関係性を通して考える教材が掲載されており、登場人物に共感しながら望ましい人間関係について考えを深めていけるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の段階に適した本文の内容、挿絵等の扱い、印刷・製本	・ 目次と各教材の冒頭に、学習内容と関連したデジタルコンテンツにつながる二次元コードが掲載されている。

教科	特別の教科 道徳	種目	道徳	発行者	光村
----	----------	----	----	-----	----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 言語活動の充実を図る工夫	・「『〇〇』の本質を探ろう」では、話し合いの手順とともに、質問し合うときの言葉の例が具体的に示されており、対話を通して考えを深めることができるように配慮されている。
② 問題解決的な学習の充実、道徳的行為に関する体験的な学習の充実を図る工夫	・内容項目「友情、信頼」を扱う教材の後に適宜設けられている「問いを立てよう」では、自分で問いを立てて考える学習の流れが具体的に示されており、複数の視点から道徳的価値についての考えを深めることができるように配慮されている。 ・「演じて考えよう」では、演じる側だけでなく、見ている側の視点が具体的に示されており、役割演技を通して自分の考えを深めることができるように配慮されている。 ・「まなびの道具箱」では、自分の考えを広げたり、分類・整理したりできるようにイメージマップやピラミッドチャート等の思考ツールが示されている。
③ 主体的な学習につながる工夫	・第1教材「道徳の学習を始めよう」では、道徳科は対話を重視し、多面的・多角的な見方によりよい生き方について考えていく学習であることが示されており、目的意識をもって学習することができるように配慮されている。 ・「道徳 道案内」では、1年間の学びに沿って複数の教材がテーマごとにまとめて示されており、見通しをもって学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・巻末の「まなびの記録」では、年度はじめに小学校や前学年の学びを振り返った上で今年度の目標を設定したり、年度末に1年間の学びを記入したりできる欄が設けられており、自らの成長を実感できるように配慮されている。
④ 多様な題材の充実	・ユニット「共に生きるために大切なこととは？」では、国籍や人種、年齢や性別、LGBTQ等に関する教材が配置されており、人権に関わる現代的な課題について考えることを通して、道徳的価値の理解を深めることができるように配慮されている。
⑤ 他教科等との関連	・教材末の「つなげよう」では、他教科や日常生活等につなげることを意識した呼びかけが、適宜示されている。
⑥ 系統的・発展的な内容等の構成・配列	・いじめや情報モラルについて考えるユニットが、全学年の同じ時期に配列されており、発達の段階に応じて系統的に学習することができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の段階に適した本文の内容、挿絵等の扱い、印刷・製本	・教材の冒頭に、学習内容と関連したデジタルコンテンツにつながる二次元コードと、朗読音声・補助動画・資料等、デジタルコンテンツの内容が適宜示されている。

教科	特別の教科 道徳	種 目	道 徳	発行者	日 文
----	----------	-----	-----	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 言語活動の充実を図る工夫	・巻頭の「みんなで話し合うときに大切なこと」では、考えを伝えたり、聞いたりする際のポイントが具体的に示されており、対話に生かすことができるように配慮されている。 ・別冊「道徳ノート」には、絵、図、文等で自分の考えを書くことのできる欄が設けられており、ねらいに応じて自由に書き込むことができるように配慮されている。
② 問題解決的な学習の充実、道徳的行為に関する体験的な学習の充実を図る工夫	・「学びを深めよう」では、教材から問題をつかむ活動例や問題について考える活動例が適宜示されており、道徳的価値の理解を深めるための問題解決的な学習となるように配慮されている。 ・「学びを深めるヒント」では、役割演技を見るとき視点や役割演技を通して考えたことを交流する際の流れが適宜示されている。
③ 主体的な学びにつながる工夫	・「ミニ教材で考えてみよう」では、ミニ教材を基に学び方のステップを実際に体験することで、見通しをもって学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・各教材末の「自分にプラスワン」では、これから大切にしたいことを考える問いが示されており、人間としての生き方について考えることができるように配慮されている。 ・別冊「道徳ノート」では、教材ごとの自己評価欄と学期ごとの振り返りページが設けられており、自らの成長を実感できるように配慮されている。
④ 多様な題材の充実	・ユニット「よりよい社会を考える」では、「自立と共生」、「環境と未来」をテーマとした教材が配置されており、道徳的価値について多面的・多角的に考えることができるように配慮されている。
⑤ 他教科等との関連	・「視野を広げて」では、生き方についての視野が広がるコラムが掲載されており、他教科等とつなげることができるように配慮されている。 ・巻末の「内容項目別教材一覧」では、他教科等や現代的な課題となるテーマとの関連が一覧で示されている。
⑥ 系統的・発展的な内容等の構成・配列	・ユニット「いじめと向き合う」が年間複数回設定されており、継続的にいじめの防止について深く考えることができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の段階に適した本文の内容、挿絵等の扱い、印刷・製本	・教材名の下に登場人物のイラストが適宜示されており、教材に対する理解や内容把握がしやすくなるように配慮されている。

教科	特別の教科 道徳	種目	道徳	発行者	学 研
----	----------	----	----	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 言語活動の充実を図る工夫	複数の教材の欄外にメモ欄が設けられており、学びの途中で気になったことや疑問に思ったこと等を書き込むことができるように配慮されている。
② 問題解決的な学習の充実、道徳的行為に関する体験的な学習の充実を図る工夫	- 巻頭の「考えを深める4つのステップ」では、考えを深める際の流れが提示され、併せて複数の教材で4つのステップに応じた具体的な問いが示されており、問題解決的な学習となるように配慮されている。 「深めよう」では、役割演技等を通して、感じたことや考えたことを話し合う活動が適宜設定されており、体験を通して道徳的価値の理解を深めることができるように配慮されている。
③ 主体的な学びにつながる工夫	「道徳科で学ぶこと 考えること」では、考える方法の具体例がイラストとキーワードで複数示されており、自分に合った方法で考えを深めることができるように配慮されている。 - 各教材名の下にキーフレーズが示されており、生徒が教材への関心を高め、自分ごととして捉えることができるように配慮されている。 - 巻末に日々の授業で気付いたことを書き留める「学びのメモ」や学期ごとに授業を振り返る「学びの記録」が設けられており、自らの成長を実感できるように配慮されている。
④ 多様な題材の充実	- ユニット「未来に向かって」では、様々な分野で活躍する人物が取り上げられており、その生き方や考え方を基に自己を見つめ、自らの生き方を考えることができるように配慮されている。 - 情報モラルを扱った教材では、SNSやインターネットを活用する際の課題や利便性についてのコラムを組み合わせることで、多面的・多角的に考えることができるように配慮されている。
⑤ 他教科等との関連	各教材名の下に、安全、環境、スポーツ等のテーマを示すマークが示されており、他教科等とつなげて考えを深めることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展的な内容等の構成・配列	全学年で内容項目「生命の尊さ」の教材と関連する内容項目の教材が年間5回以上位置付けられており、命の大切さについて継続的に考えることができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の段階に適した本文の内容、挿絵等の扱い、印刷・製本	「パソコンやタブレットを活用しよう！」では、ICT機器の活用例や留意点が具体的に示されている。

教科	特別の教科 道徳	種 目	道 徳	発行者	あか図
----	----------	-----	-----	-----	-----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 言語活動の充実を図る工夫	教材を読み、活動を通して考えを深めるページである「マイ・プラス」では、話合いの視点が具体的に示されており、自分の言葉で表現することができるように配慮されている。
② 問題解決的な学習の充実、道徳的行為に関する体験的な学習の充実を図る工夫	- 第1教材「道徳 はじまりの時間」では、生徒の発達の段階に応じた身近な教材が設定されており、現在の自分を見つめ、問題意識をもつことができるように配慮されている。 - 道徳的な問題を捉えて考える教材では、多面的・多角的な話合いとなるように学習の進め方が提示されており、道徳的価値の理解を深めるための問題解決的な学習となるように配慮されている。
③ 主体的な学びにつながる工夫	- 巻頭の「道徳科の時間は『自分を見つめ、考え、生きる』時間」では、よりよい生き方について考えるための学び方の例が複数示されており、見通しをもって考えることができるように配慮されている。 - 教材末に教材を通して道徳的価値についてどのように考えるのが適宜吹き出しで示されており、ねらいに沿って考えを深めることができるように配慮されている。 - 巻末の「学習の記録」と「1年間の学習の記録」では、学期や1年間の振り返りを行うことができる欄が設けられており、自らの成長を実感できるように配慮されている。
④ 多様な題材の充実	- いじめが起きる原因や背景等をいじめの構造から考えたり、内容項目の4つの視点から考えたりする教材が学年に応じて配置されており、いじめ防止について多様な視点から考えることができるように配慮されている。 - 巻末の「Thinking」では、3つの教材とSDGsの17の目標との関連が示されており、道徳的価値について、現代的な課題とつなげて考えることができるように配慮されている。
⑤ 他教科等との関連	巻末の「内容一覧」では、教材と他教科等や現代的な課題等との関わりが一覧で示されている。
⑥ 系統的・発展的な内容等の構成・配列	「いじめ」、「情報モラル」、「キャリア」の3つの観点でユニット化された教材が、全学年共通の時期に配置されており、系統的に学びを深めていくことができるように配慮されている。
⑦ 生徒の発達の段階に適した本文の内容、挿絵等の扱い、印刷・製本	登場人物同士の関わりに着目することを通して考える教材では、冒頭に登場人物のイラストが提示されており、教材の内容がスムーズに把握できるように配慮されている。

教科	特別の教科 道徳	種目	道徳	発行者	日科
----	----------	----	----	-----	----

観 点	特 徴 ・ 特 記 す べ き 事 項
① 言語活動の充実を図る工夫	・ 巻末に、内容項目と関連する4つのカテゴリーに分類された「ウェルビーイングカード」が用意されており、カードのキーワードを基に生徒同士が積極的に話し合うことができるように配慮されている。 ・ 教材末に、適宜メモ欄が設けられており、自分の考えや友達の意見等から気付いたことを書き込むことができるように配慮されている。
② 問題解決的な学習の充実、道徳的行動に関する体験的な学習の充実を図る工夫	・ 「〇〇ってなあに」では、自由、幸福、愛とはなにかを考える問いが示されるとともに、哲学者の格言が紹介されており、答えが1つではない問いについて考える学習となるように配慮されている。 ・ 内容項目ごとにまとまっている4つのユニットの扉ページには、道徳的な問題を含んだ日常生活の場面が4コマ漫画で示されており、問題意識をもつことができるように配慮されている。
③ 主体的な学びにつながる工夫	・ 巻頭の「クラスのみならず『道徳授業』を創り出そう」では、授業の進め方が具体的に示されており、見通しをもって学習に取り組むことができるように配慮されている。 ・ 「試してみよう」、「ウォーミングアップ」では、短い教材を基に、道徳的価値に対する考えを深める学習の進め方を体験を通して学ぶことができるように配慮されている。
④ 多様な題材の充実	・ いじめの問題を直接扱う教材と、いじめにつながりかねない内容を扱う教材が設けられており、自分の問題として考えることができるように配慮されている。 ・ 石川県に関連のある人物や題材を扱った教材が複数掲載されている。
⑤ 他教科等との関連	・ 巻末「わたしたちの郷土」では、人物、自然、文化について写真と解説文が掲載されており、他教科等とつなげることができるように配慮されている。
⑥ 系統的・発展的な内容等の構成・配列	・ 友情や異性への理解を扱った教材が、3学年にわたって連載されており、内容項目「友情、信頼」について継続的に考えることができるように配慮されている。 ・ 各学校の方針によって教材の配置等を自由に考えることができるように、内容項目順に教材が掲載されている。
⑦ 生徒の発達の段階に適した本文の内容、挿絵等の扱い、印刷・製本	・ 教材名の下に、学習内容と関連したデジタルコンテンツにつながる二次元コードが適宜掲載されている。